

# 添付資料: 今冬の電力需給見通しに関する報告徴収に基づく報告の概要

## 1. 原子力の再起動がないとした場合の需給バランス

- 各H1需要(1日最大電力)における今冬の需給バランス(供給予備率)は、以下のとおり。
- ① 2012年度(1, 2月)の実績 : (1月)16.4% (2月)15.9%
  - ② 定着節電, 平年並み気温の場合 : (1月)12.0% (2月)11.4%
  - ③ 2012年度冬季並み節電, 2011年度厳寒並み気温の場合 : (1月) 9.4% (2月) 8.7%
  - ④ 定着節電, 2011年度厳寒並み気温の場合 : (1月) 9.1% (2月) 8.4%

(注) 定着節電は▲15万kW, 2012年度冬季並み節電は▲17万kWを織り込み。 (単位: 万kW, %)

		1月				2月			
		①	②	③	④	①	②	③	④
H1需要		990	1,028	1,050	1,052	990	1,028	1,050	1,052
供給力	原子力	0				0			
	火力	1,012				1,004			
	水力	51				56			
	揚水	115	114	110	110	115	113	108	108
	地熱・太陽光	0				0			
	融通	▲22				▲24			
	新電力への供給等	▲4				▲4			
合計		1,153	1,152	1,148	1,148	1,148	1,145	1,141	1,140
供給予備力		163	124	98	96	158	117	91	88
供給予備率		16.4	12.0	9.4	9.1	15.9	11.4	8.7	8.4

(注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## 2. 需要見通し

※H1:1日最大電力 H3:最大3日平均電力

【今冬(2013年度)見通し(H1)】(単位:万kW)

H1 需要		前提および算定式等	
①	990	・2012年度実績	2012年度(1,2月)のH1 需要
②	1,028	・定着節電織り込み ・平年並み気温	$\frac{1,018\text{万kW}}{\text{想定H3}} \times \frac{1.010}{\text{過去5年間のH1/H3比率}}$
③	1,050	・2012年度冬季並み節電織り込み ・2011年度厳寒並み気温	$\frac{(1,016\text{万kW}+24\text{万kW})}{\text{想定H3}} \times \frac{1.010}{\text{2011年度厳寒影響}}$
④	1,052	・定着節電織り込み ・2011年度厳寒並み気温	$(1,018\text{万kW}+24\text{万kW}) \times 1.010$

【気温感応度】(単位:万kW/°C)

2013年度想定	▲14
2012年度実績	▲14
2011年度実績	▲14

【気温関連データ】(単位:°C)

過去10年間の 平均気温の平均値	1.9
2011年度厳寒 H3 発生日の平均気温	0.2

【要因別影響(H3)】(単位:万kW)

・今冬(2013年度)見通し

2013年度 対2010年度	定着節電 の場合	2012年度 冬季並み 節電の場合
2013年度想定	1,018	1,016
2010年度実績	1,061	
差分	▲43	▲45
気温影響	▲5	
節電影響	▲15	▲17
経済影響	▲19	
離脱影響	▲4	

・昨冬(2012年度)実績

2012年度 対2010年度	実績
2012年度実績	984
2010年度実績	1,061
差分	▲77
気温影響	▲27
節電影響	▲17
経済影響	▲31
離脱影響	▲2

・一昨冬(2011年度)実績

2011年度 対2010年度	実績
2011年度実績	1,024
2010年度実績	1,061
差分	▲37
気温影響	19
節電影響	▲15
経済影響	▲38
離脱影響	▲3